

オーバーヘッドカメラ

取扱説明書

品番 WE-MV180A

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	2
使用上のお願い	4
制限事項	5
撮影上のお願い	5
ブルーミングやスミアの防止	5
撮影時の光について	5
<hr/>	
各部の名前と働き	6
使いかた	8
使用例	8
付属の操作ボタン表示ラベルについて	8
ステージ面に置いた資料や物を撮影する場合 ...	9
壁面や口元などを撮影する場合	11
ネガフィルムやOHPなどの透過原稿を 撮影する場合	12
<hr/>	
収納のしかた・持ち運びかた	14
収納のしかた	14
持ち運びかた	15
<hr/>	
接続のしかた	16
接続のしかた	16
多数のテレビモニターに表示するとき	17
<hr/>	
蛍光灯の交換のしかた	18
故障とされましたら	18
仕様	19
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、オーバーヘッドカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

- デジタル信号処理で、高画質で鮮明な画像が得られます。
- 書籍、文献、話者の口元や壁面の資料も撮影可能です。
- オートフォーカス機能を搭載していますので、ピントあわせが不要です。
また、フォーカスロックスイッチにより、フォーカスの位置を固定することができます。
- ビデオやレーザーディスクなどのAV機器を2台まで接続できます。
AV切替スイッチで、切り替えてテレビモニターなどに表示できます。
- 液晶モニターを装備しています。
テレビモニターなどが離れていて確認しにくい場合でも、その場で撮影内容を確認できます。
- 写真のネガをテレビモニターなどに表示できます。
- 本機のカメラで撮影した映像を、メモリーに記憶させることができます（フレームメモリー機能）。
メモリーに記憶した映像をテレビモニターに表示したまま、被写体を変更できます。
- マイクを接続できますので、プレゼンテーション用にも適しています。
- RGB端子を備えているビデオプロジェクターなどに接続して、プレゼンテーションを行うことができます。

付属品をご確認ください

ACケーブル	1	取扱説明書(本書)	1
操作ボタン表示ラベル	1	保証書	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災やけがの原因となります。

修理や点検は販売店にご連絡ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

工事や蛍光灯を交換する ときは電源プラグを抜く



感電の原因となります。

電源プラグ
を抜く

ぬれた手で電源プラグを 抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

コンセントや配線器具の 定格を超える使いかたや、 交流100V以外での使用は しない



禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源プラグのほこりなどは 定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは、根本まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードは、必ずプラグ 本体を持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことは しない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

指はさみ注意



指に注意

アームライトやカメラアームをたたむときに手や指をはさまないように注意してください。けがの原因となります。

点灯中や消灯直後の蛍光灯に手を触れない



禁止

あついうちにさわると、やけどなどの原因となります。

使用上のお願い

カメラ部を太陽に向けない

カメラ部を直射日光に向けると、カメラ部を破損し、撮影できなくなります。

暗い画面の中に明るいスポット光線のある被写体は映さない

テレビモニターなどのブラウン管をいためる場合があります。

湿気、ホコリの少ない所で使う

湿気、ホコリの多い所で使用すると、内部の部品が、いたみやすくなりますので避けてください。

使用周囲温度を守る

35 以上の暑い所や5 以下の寒い所では、画質の低下や内部の部品に悪い影響を与えるので避けてください。

お手入れについて

- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対に使用しないでください。ケースが変形したり、変色することがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ケースの汚れは乾いた布でふいてください。ひどい汚れは、水か台所用洗剤を少し布に付けてふいたあと、乾いた布でふいてください。
- 可動部分に油を差さないでください。

消耗品について

蛍光灯(アームライト)、液晶ランプユニット、バックライトは消耗品です。

下記の時間を目安に交換してください。

(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません。)

- 蛍光灯(アームライト) : 約 3,000時間
(交換のしかたは18ページをご参照ください)
- 液晶ランプユニット : 約 4,000時間
- バックライト : 約10,000時間
液晶ランプユニット、バックライトの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

制限事項

電源「入」後の出画時間について

本体の電源を入れてから、画像がテレビモニターなどに表示されるまで、約9秒かかる場合があります。出画するまでの間は、フォーカスロック表示LEDが点灯し、出画後、LEDは消灯します。

収納について

カメラアームを収納する前に、必ず接続しているケーブルを外していることを確認してください。ケーブルを接続したまま、カメラアームを収納すると本機を破損する恐れがあります。

ズーム位置、フォーカスロックについて

ズームスイッチで画像を拡大または縮小した後に電源スイッチを切ると、ズーム位置はリセットされます。また、フォーカスロックしている状態で電源スイッチを切ると、フォーカスロックは解除されます。

ネガポジ機能について

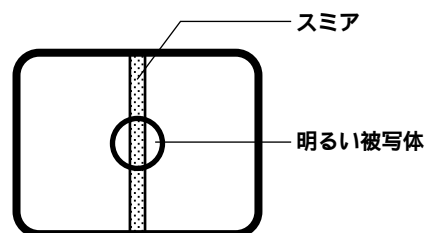
ネガの状態によっては十分な色再現ができないことがあります。

撮影上のお願い

ブルーミングやスミアの防止

照度が非常に高い被写体の近くでカメラを操作すると、スミア(映像が尾を引いて見える現象)やブルーミングが発生することがあります。

カメラを太陽やレーザー光線のような非常に強い光に向けないでください。CCD固体撮像素子が焼けて、画面に黒い点や白い点が現れることがあります。



撮影時の光について

光源の色温度について

本機には専用の照明がついていますが、明るさが変わると、光源の色温度が変わります。光源の色温度が変わると、被写体の色が目で見たときと違う色の画像が表示されることがあります。このようなときにはホワイトバランススイッチを押して、再度ホワイトセットを行ってください。

屋外撮影について

本機は室内やステージ面上の被写体の撮影を主に行うものです。晴天時の屋外の撮影を行うときには、被写体の照度が高いのでレンズにNDフィルタを取り付けることをおすすめします。
(フィルタ寸法：直径37 mm)

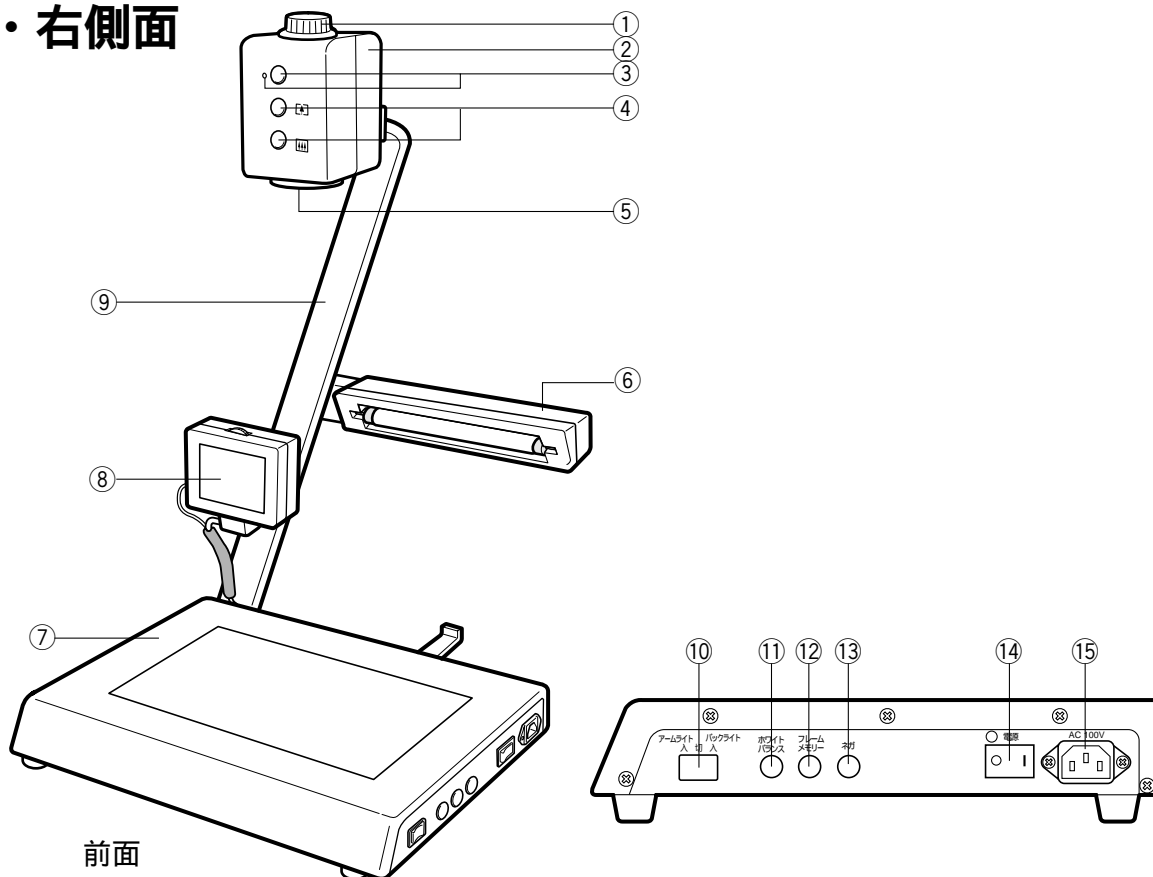
レンズのお手入れについて

レンズ表面に汚れが付着すると画面がボケたり、ゴミが映ったりします。このようなときは、次の手順でレンズを清掃してください。特にタバコの煙が多い所で使用する場合はこまめに清掃してください。

1. レンズ表面のごみやホコリをエアスプレーでふき飛ばします。
2. レンズクリーナー液をレンズクリーニングペーパーにしみ込ませて軽くふいてください。

各部の名前と働き

前面・右側面



前面

①カメラ回転つまみ

カメラヘッド内のカメラを左右に90°回転できます。

②カメラヘッド

左右に90°回したり、スイングしたりできます。

③フォーカスロックスイッチ/表示LED

[フォーカスロック]
オートフォーカスの位置を固定します(表示LED点灯)。フォーカス位置がぶれたりする場合に使用してください。(10ページ参照)
再度押すと、解除されます(表示LED消灯)。

④ズームスイッチ [拡大 / 縮小]

画面の拡大または縮小を行うスイッチです。

⑤レンズ(クローズアップレンズ、レンズキャップ付き)

あらかじめ、クローズアップレンズとレンズ保護用のレンズキャップが取り付けられています。

- 使用時は、レンズキャップを外してください。
- レンズからの距離が2 m以上ある被写体を撮影するときはクローズアップレンズを外してください。クローズアップレンズを外すときは、レンズを左に回してください。

⑥アームライト

暗い環境下での被写体照明用ライト(蛍光灯)です。

⑦ステージ(バックライト付き)

被写体を置く台です。前面から見て上下左右がテレビモニターなどの画面上と同じ位置になります。

⑧液晶モニター(明るさ調整用ボリューム付き)

本体の電源を入れると同時に、外部モニターと同じ映像が表示されます。液晶モニターの角度は見やすいように調整できます。
液晶モニターの上面にある、明るさ調整用ボリュームで液晶モニターの明るさを調整できます。

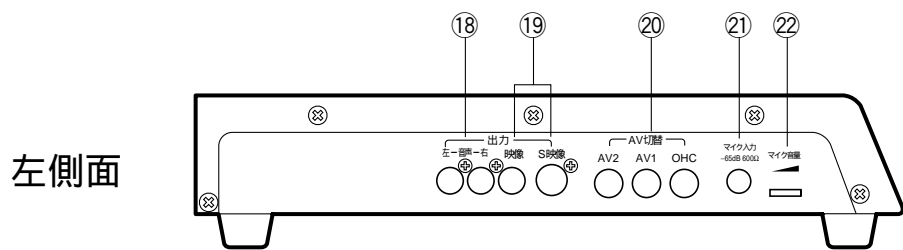
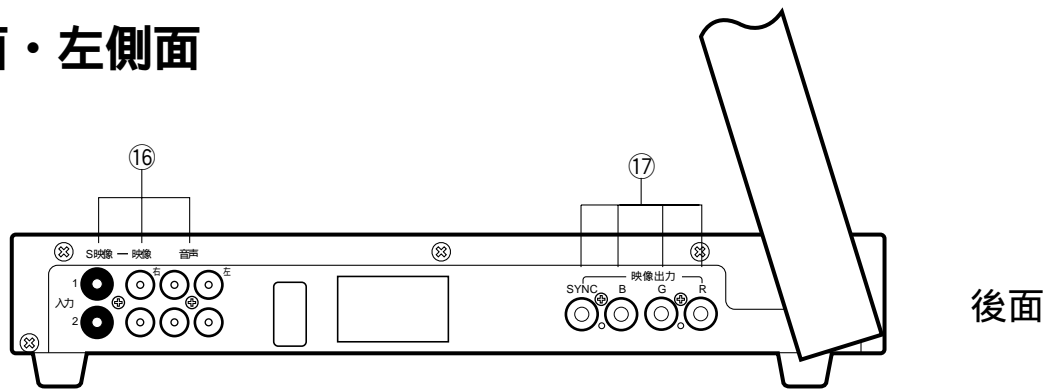
⑨カメラアーム

⑩照明切替スイッチ

[アームライト、バックライト 入/切]

- アームライトまたはバックライトを点灯します。同時に両方のライトを点灯することはできません。
- 用紙などを撮影するときで、映像が暗いときにアームライトを「入」にして点灯します。
- 透過原稿やネガフィルムを撮影するときには、バックライトを「入」にして点灯します。

後面・左側面



⑫フレームメモリースイッチ [フレームメモリー]

原稿差し替え時の見苦しさを避けたいときに押ししてください。このスイッチを押してから、原稿の交換を行い、再度このスイッチを押すと新しい原稿の画面に切り替えられます。(10ページ参照)

⑬ネガポジ反転スイッチ [ネガ]

ネガフィルムをポジに反転して見たいときに押します。ネガフィルム撮影後、用紙などを撮影するときは再度ネガスイッチを押す必要があります。

⑭電源スイッチ/電源表示LED [電源]

電源スイッチを入ると、スイッチ上側の電源表示LEDが点灯し、テレビモニター、液晶モニターに映像が表示されます。

⑮電源コンセント [AC100V]

付属のACケーブルを使用し、電源コンセントと接続します。必ずAC100V 50 / 60Hzに接続してください。

⑯入力端子 [入力1、2 S映像 / 映像 / 音声]

2系統あり、AV機器を2台まで接続できます。系統ごとに映像入力用端子(S端子、コンポジット端子)と音声入力用端子(右、左)があります。

同一系統のS端子とコンポジット映像端子の両方に接続すると、S端子が優先されます。

⑰RGB出力端子 [映像出力 SYNC / B / G / R]

3管式ビデオ・プロジェクターや液晶映写機などを接続するときに使用します。

⑱音声出力端子 [音声、左 / 右]

入力端子(1または2)に入力した音声およびマイクの音声を、この端子に接続しているオーディオ機器に出力します。

- 本機にパワーアンプは内蔵されていないので、直接この端子とスピーカーを接続することはできません。
- マイクから入力した音声は、AV切替スイッチの位置に関係なく常に出力されます。

⑲映像出力端子 [映像 / S映像]

テレビモニターなどと接続します。[コンポジット映像]と[S映像]の2種類の端子があります。接続する機器の端子に合わせて使い分けてください。

⑳AV切替スイッチ [AV切替 OHC / AV1 / AV2]

このスイッチでテレビモニターなどに表示する映像を切り替えます。

OHC：本機のカメラで撮影した映像を出力します。
AV1：入力1に入力した映像・音声を出力します。
AV2：入力2に入力した映像・音声を出力します。

㉑マイク入力端子 [マイク入力 -65 dB 600]

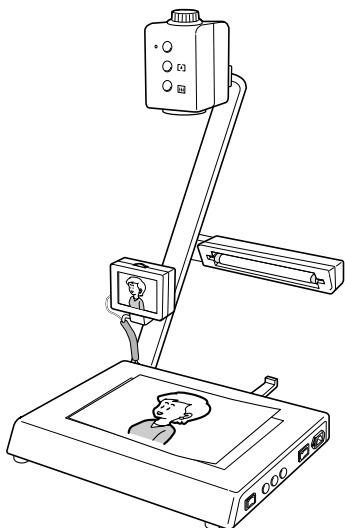
-65 dB 600 のマイク(別売品)を接続して資料の説明などを行うことができます。入力端子(音声1または2)に音声を入力している場合、マイク音声とミキシングされて音声出力端子から出力されます。

使いかた

使用例

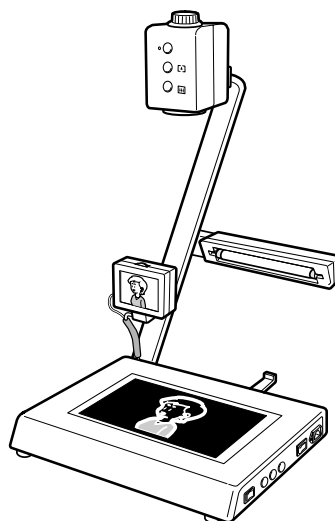
1. ステージ面に置いた資料や物を撮影する場合

書籍・文献・立体物をステージ面に置いて撮影し、テレビモニターなどに映し出します。
(9ページ参照)



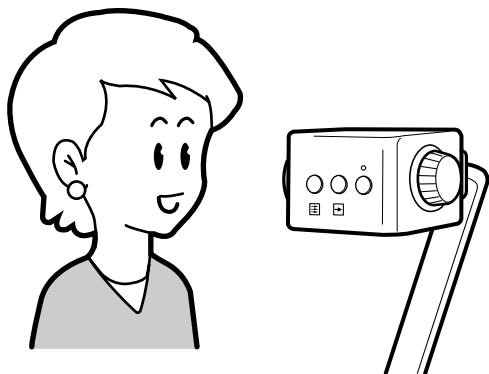
3. ネガフィルムやOHPなどの透過原稿を撮影する場合

ネガフィルムをポジに変換してテレビモニターなどに表示できます。また、透過原稿を表示することもできます。(12ページ参照)



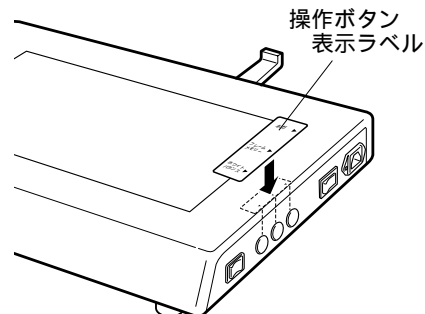
2. 壁面や口元などを撮影する場合

壁面に固定した資料を撮影したり発音の勉強時など話者の口元を撮影したりするときに使います。
(11ページ参照)



付属の操作ボタン表示ラベルについて

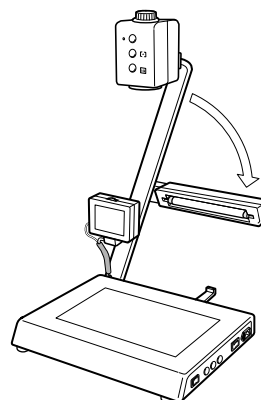
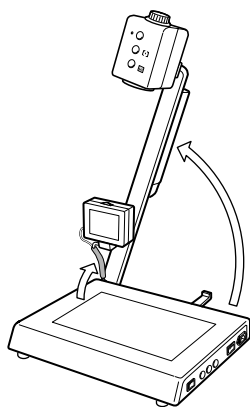
本機側面にある、ホワイトバランススイッチやネガポジ反転スイッチ、フレームメモリースイッチの位置が分かりにくいときは、付属の操作ボタン表示ラベルを下図の位置に貼り付けてください。



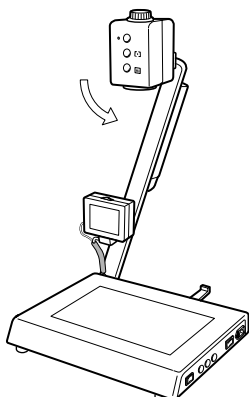
ステージ面に置いた資料や物を撮影する場合

1. カメラアーム、液晶モニターを引き起こします。

止まるまで引き起こしてください。



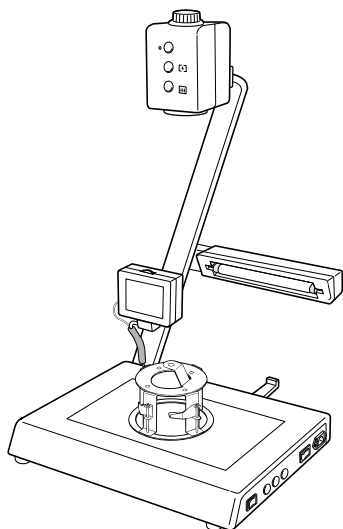
2. カメラをステージ面に向けます。



3. アームライトを、ステージ面と平行になるように開きます。アームライトをステージ面に向くように回します。(照明カバーを持って回してください。)

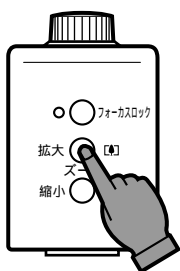
使いかた

7. ステージ面に被写体を置きます。

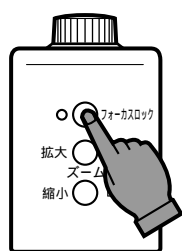


8. 液晶モニターを見ながら被写体が中心に映るように、カメラの向きを調整します。

9. ズームスイッチを押し、被写体の映像を好みの大きさに映します。



10. フォーカス位置が安定しない場合は、フォーカスロックスイッチを押してください。フォーカス位置が固定されます(表示LED点灯)。再度押すと解除され、再びオートフォーカスになります(表示LED消灯)。



フレームメモリー機能について

フレームメモリー機能を使うと、本機の内部メモリーに記録した映像をテレビモニターなどに表示した状態で、被写体を交換できます。フレームメモリー機能を使用するときは、次の手順で操作してください。原稿Aから原稿Bに変更する場合を例に説明します。

①原稿Aを映しているときに「フレームメモリー」スイッチを押します。

原稿Aの映像が本機内部のメモリーに記録されます。

液晶モニター : 原稿A表示

テレビモニター : 原稿A表示

②原稿Aを原稿Bに差し替えます。

液晶モニターを見ながら原稿位置を確認します。必要に応じてズームスイッチを操作し、好みの大きさにします。

液晶モニター : 原稿B表示

テレビモニター : 原稿A表示

③「フレームメモリー」スイッチを押します。

テレビモニターに差し替えた原稿Bが表示されます。

液晶モニター : 原稿B表示

テレビモニター : 原稿B表示

お願い

フレームメモリー機能は、AV切替スイッチがOHCのときだけ使用できます。

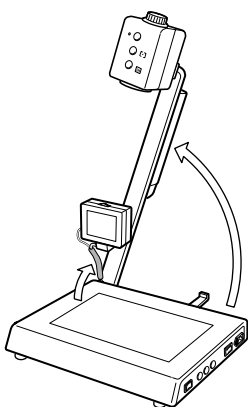
フレームメモリー使用時にAV切替スイッチをAV1またはAV2に切り替えたり、電源を切ったりすると記録されている内容は消去されます。

壁面や口元などを撮影する場合

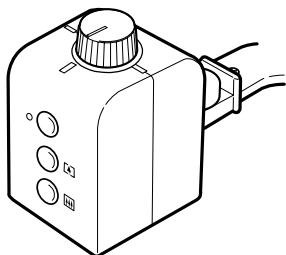
被写体が暗いときは室内の照明を点灯するなどし、十分な明るさを確保してください。
被写体の明るさによってはテレビモニターなどに映し出される画面が暗くなることがあります。

1. カメラアーム、液晶モニターを引き起こします。

止まるまで引き起こしてください。



2. カメラヘッドを回してレンズを被写体に向けます。必要に応じてカメラ回転つまみを左または右に回し「」印に合わせます。

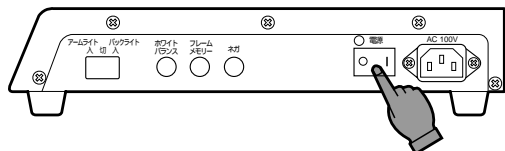


お願い

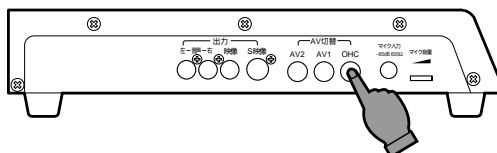
カメラヘッドを必要以上の力で回したり、スイングしたりしないでください。
カメラヘッドとアームとのジョイント部を破損する恐れがあります。

3. 電源スイッチを押して「入」にします。

電源ランプが点灯し液晶モニターに現在撮影されている映像が表示されます。

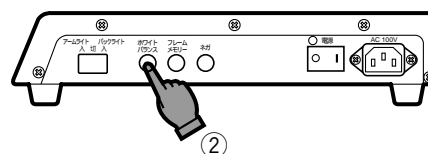
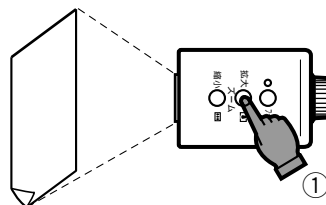


4. AV切替スイッチの「OHC」を押します。



5. ホワイトセットを行います。

- ① レンズの前に白い紙を置き、紙がモニターの大部分に映るようにズームスイッチを操作してください。
 - ② ホワイトバランススイッチを押します。約2秒で最適な画像が得られます。
- 照明条件が変わったときは、「ホワイトセット」をやり直してください。

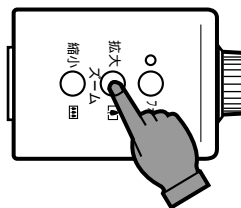


お願い

レンズから被写体までの距離が2 m以上のときはクローズアップレンズを外してください。
クローズアップレンズは、レンズを左に回すと外れます。

6. 液晶モニターを見ながら、被写体が中心に映るように、カメラの向きを調整します。

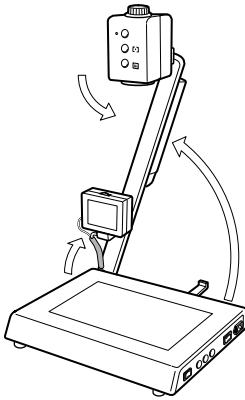
7. ズームスイッチを押し、被写体の映像を好みの大きさに映します。



使いかた

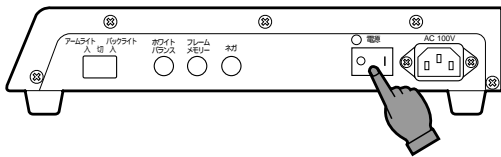
ネガフィルムやOHPなどの透過原稿を撮影する場合

1. カメラアーム、液晶モニターを引き起こします。
止まるまで引き起こしてください。カメラをステージ面に向けます。

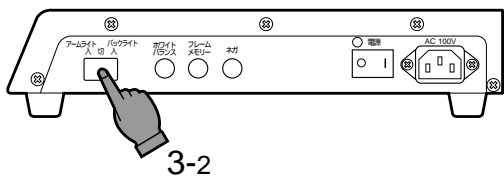
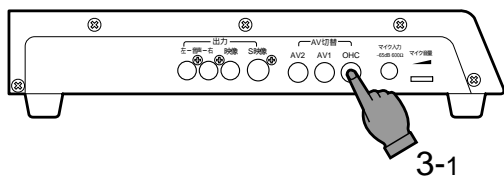


2. 電源スイッチを押して「入」にします。

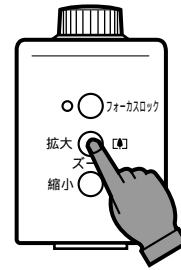
電源表示LEDが点灯し、液晶モニターに現在撮影されている映像が表示されます。



3. AV切替スイッチの「OHC」を押し、次に照明切替スイッチを押して「バックライト」を「入」にします（バックライト用ステージ点灯）。



4. ズームスイッチを押し、被写体の映像を好みの大きさに映します。



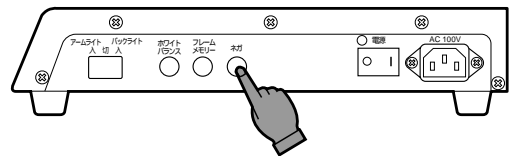
ネガフィルムやスライドを映すときは、バックライト用ステージが映らないように、拡大してください。
(バックライト用ステージが映ると映像が暗くなる場合があります)

5. ネガフィルムを映すときはネガポジ反転スイッチを押します。

ネガ ポジに変換された映像がテレビモニターなどに表示されます。

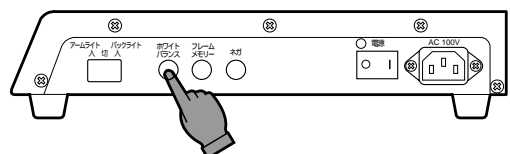
ネガフィルム撮影後に書類やポジフィルム（透過原稿含む）を撮影するときは、再度このスイッチを押します。

OHPシートなどの透過原稿を映す場合この操作は必要ありません。6の操作を行ってください。



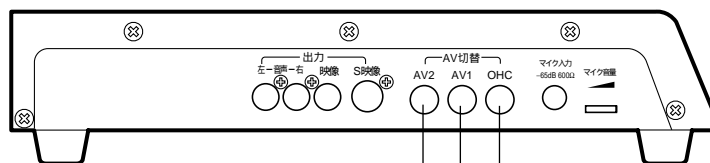
6. ホワイトセットを行います。

- ホワイトバランススイッチを押します。約2秒で最適な画像が得られます。
- ネガフィルム撮影後に書類やポジフィルム（透過原稿含む）を撮影するときは、再度「ホワイトセット」を行ってください。
- 照明条件が変わったときは、「ホワイトセット」をやり直してください。



AV切替スイッチの使いかた

本機のカメラ映像の他に、VTRやレーザーディスクプレーヤーなど、2種類の映像(音声を含む)をAV切替スイッチで切り替えてテレビモニターなどに表示できます。



AV2スイッチを押す。

後面の映像、音声入力端子の2に接続したレーザーディスクプレーヤーなどの映像と音声を出力します。マイクを接続している場合、マイクからの音声がミキシングされて出力されます。

AV1スイッチを押す。

後面の映像、音声入力端子の1に接続したVTRなどの映像と音声を出力します。マイクを接続している場合、マイクからの音声がミキシングされて出力されます。

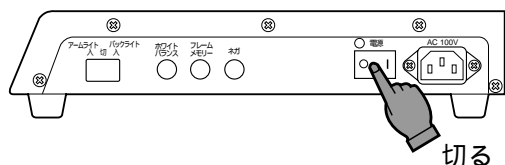
OHCスイッチを押す。

本機のカメラで撮影した映像を出力します。マイクを接続している場合、マイクからの音声も出力できます。

収納のしかた・持ち運びかた

収納のしかた

1. 電源スイッチを切ります。

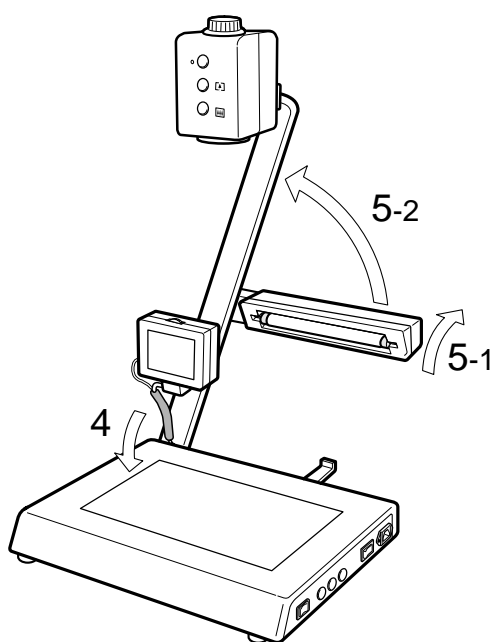


2. 本機に接続されている電源ケーブル及び接続されているケーブルをすべて外します。

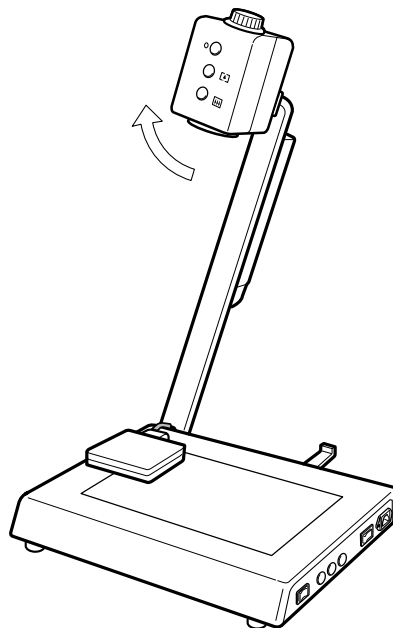
3. レンズキャップを取り付けます。

4. 液晶モニターを倒します。

5. アームライトをアームと平行にします。



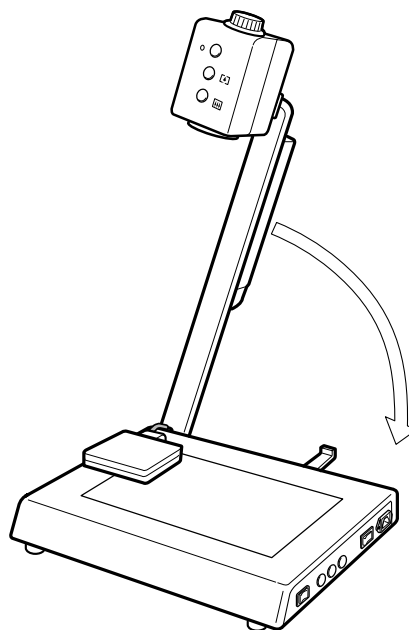
6. カメラ部をアームと平行にします。



7. カメラアームを倒します。ケーブルをすべて外していることを確認してください。

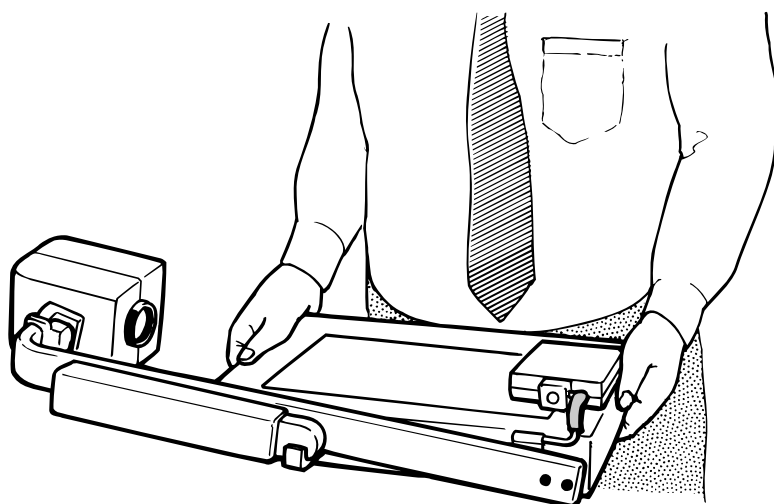
⚠ 注意

アームで指をはさまないように注意してください。けがの原因になります。

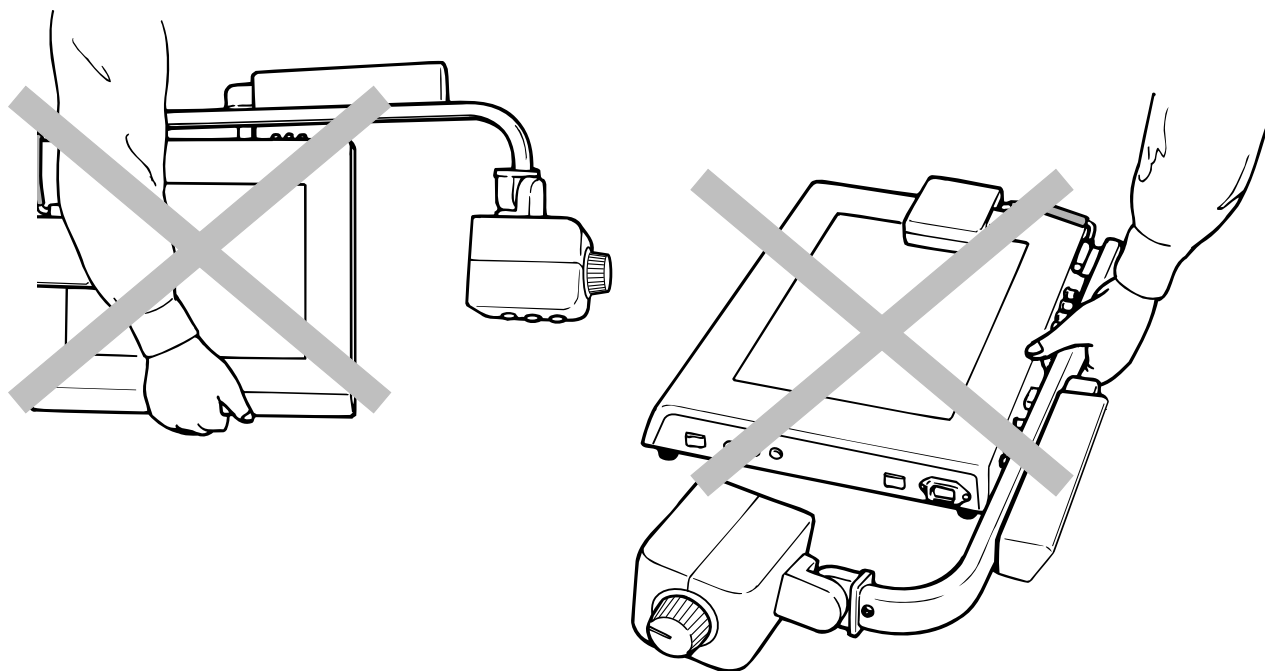


持ち運びかた

収納してからステージ面の両側を持って運んでください。

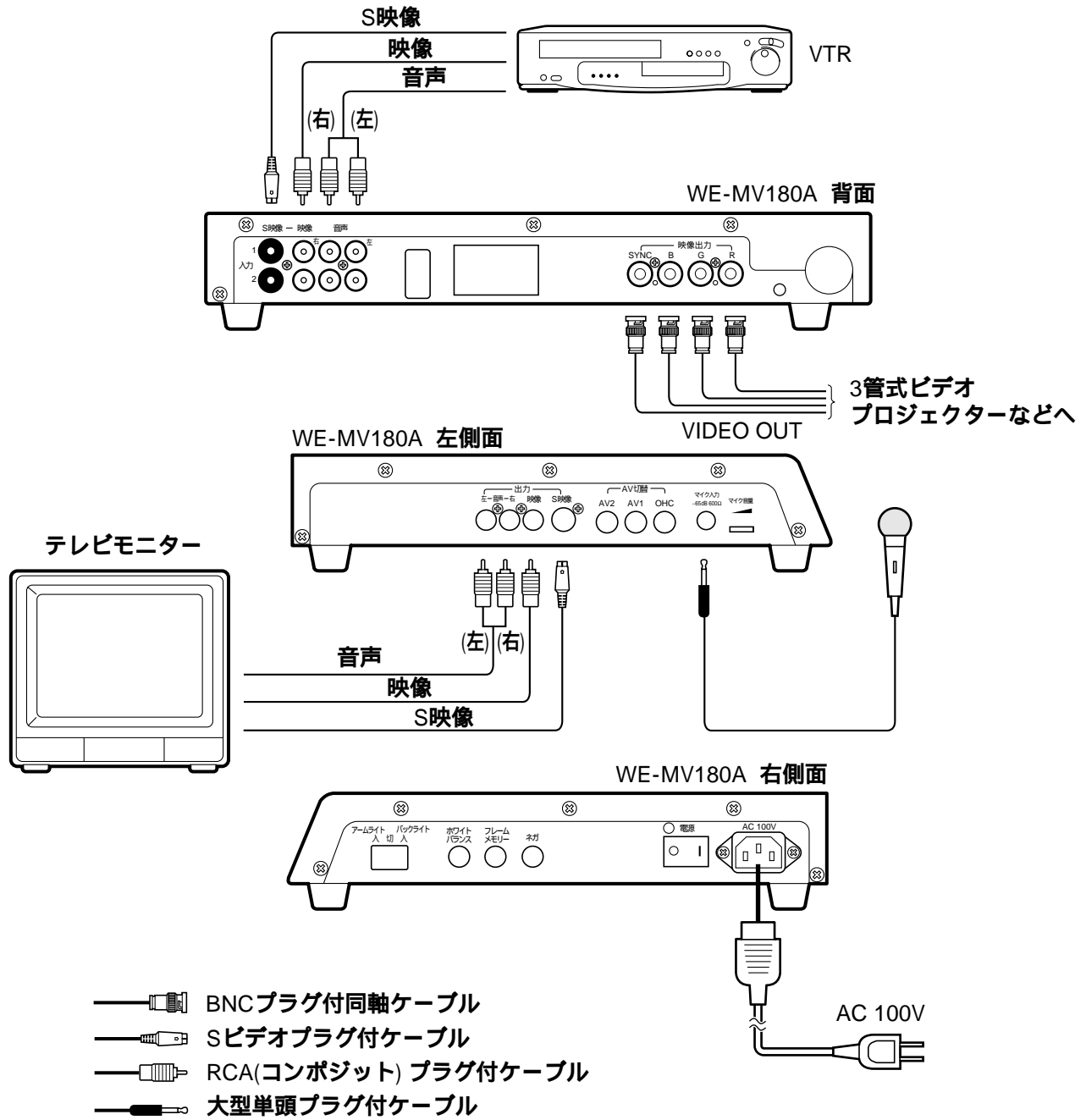


下図のような持ちかたは避けてください。



接続のしかた

接続のしかた

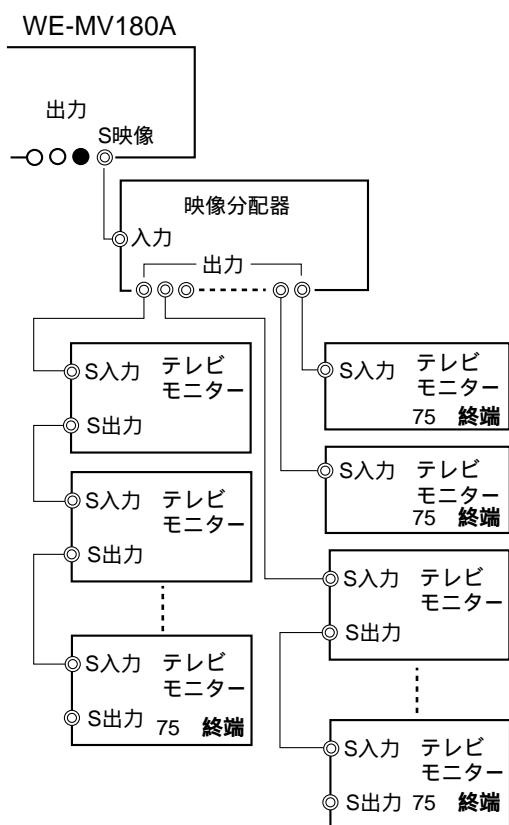


- モノラル音声出力のVTRなどの音声を、左右両方に出したいときは、モノラル-ステレオ分配コード（市販品）を使用してください。

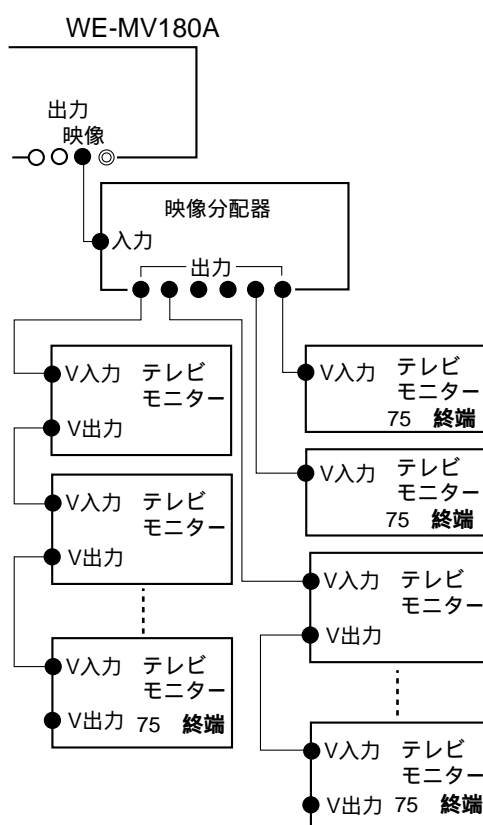
多数のテレビモニターに表示するとき

- 映像分配器でSビデオ（S映像）信号、またはビデオ（映像）信号を分配してください。
- Sビデオ、またはビデオ信号のループスルー接続（出力 入力 出力と接続していく方法）のできないモニターは、映像分配器から個々に接続してください。
- 最後のテレビモニターで終端してください。

S映像信号の場合



ビデオ信号の場合



蛍光灯の交換のしかた

⚠ 警告

必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因になります。

また、消灯直後の蛍光灯はあつくなっています。蛍光灯の熱が冷めてから行ってください。

1. 蛍光灯を回転させ、静かに外します。

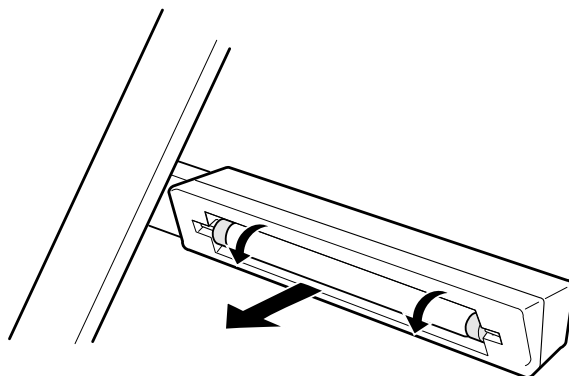
- 交換する蛍光灯は以下のものと同等のものをお使いください。

6 W 直管蛍光灯(昼光色)

推奨品番：FL6D

推奨品番：FL6D

[松下電器産業(株)管球事業部扱い]



故障と思われましたら

故障と思われる前に以下の内容をご確認ください。確認してもなお異常があるときは販売店にご相談願います。

映像が出ない

- 電源スイッチは入っていますか。
- モニター機器側の電源は入っていますか。
- 接続ケーブルは正しく接続されていますか。
- モニター機器の映像切替スイッチは正しい位置になっていますか。
- レンズキャップが付いたままになっていませんか。

液晶モニターに映像が出ない

液晶モニターの明るさ調整用ボリュームを「明」の方向に回してみましたか。

フォーカスが合わない

- 被写体の高さが15 cm以上ありませんか。
15 cm以上あるとフォーカスが合わないことがあります。
- アームが正常の位置に起きていますか。
- レンズが汚れたり、ゴミが付いていませんか。
- 白紙や無地の被写体の場合、オートフォーカスが正常に機能しないことがあります。この場合は、一度文字やコントラストのある被写体に変え、フォーカスの合う位置でフォーカスロックスイッチを押してください。

音が出ない

- 接続のしかたに間違いがないか確認してください。
- 音声ボリュームが最小になっていませんか。
- アンプ・モニター機器側の電源、切替スイッチの設定は間違いありませんか。

表示している映像が静止したまま切り替えることができない

フレームメモリースイッチがONになっていませんか。

フレームメモリー時に映像がぶれる。

フレームメモリースイッチをONにするときに被写体または本体を動かしていませんか。静止した状態で再度フレームメモリースイッチをONにしてください。

画面にしま模様(色ビート)がでる

被写体の印刷物によっては色ビート(画面にしま模様が出る状態)が発生することがありますが故障ではありません。

仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	31 W(照明点灯時)
寸法	
セット時	400(幅) × 688(高さ) × 365(奥行き) mm
ステージサイズ	400(幅) × 330(奥行き) mm
撮影サイズ	295 × 395 mm 原稿台上高さ150 mmまでズーム可能
バックライト	A4 ステージサイズ
質量	約7.9 kg
周囲温度	5 ~ 35 (結露なきこと)
仕上げ	OAアイボリー色 (マンセル5.5Y7.5 / 0.3近似色)

カメラ部	
撮像素子	1 / 3型CCD
画素数	768(H) × 494(V)画素
TV方式	NTSC方式
解像度	
水平	460本(中心部にて)
垂直	350本(中心部にて)
S/N	48 dB以上
外部同期	なし
レンズ	f=5.4 ~ 64.8 mm
ズーム	12倍ズーム F1.8 ~ 2.7可変 (スロースタート)
ズーム時間	約5 s (拡大 縮小)
フォーカス	オートフォーカス、フォーカスロック
シャッター	1 / 100フリッカーレス
アイリス	自動
ホワイトバランス	ワンプッシュ自動
カメラ回転	水平・垂直 約90°

液晶モニター

サイズ	2.9型
明るさ調整	可能
画素数	480 × 146画素

入力

コンポジットビデオ	RCA端子(2系統) 1.0 V[p-p]
Sビデオ	S端子(ミニDIN端子) (2系統) Y(1.0 V[p-p]),C(0.286 V[p-p])
音声	RCA端子(ステレオ2系統) コンポジット信号
マイク入力	大型単頭プラグ(不平衡 -65 dB 600) ミキシング回路内蔵(1系統)

出力

コンポジットビデオ	RCA端子 (1系統)
Sビデオ	S端子(ミニDIN端子) (1系統)
RGB出力	R / G / B / SYNC(BNC端子) (1系統)
音声	RCA端子 -20 dBV (1 V= 0 dBV) (ステレオ1系統)

機能

切替スイッチ	映像、音声同時切替(2系統)
ネガポジ反転機能	あり
フレームメモリー機能	あり(1フレーム記憶可能) 本機のカメラで撮影した映像だけ記憶可能。

ライト

アームライト	6 W 直管蛍光灯
バックライト	A4サイズ対応(ステージに内蔵) 冷陰極管 3波長蛍光灯

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、蛍光灯、液晶ランプユニット、バックライトは消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、オーバーヘッドカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WE-MV180A
販 売 店 名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NYp0698-2030

A8QA5024CN